

お申込先



<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/42619.php>

社会連携部事業課
shakaijin2@tokyo-ondai.ac.jp
☎ 03-3982-3324

お申込み及び注意事項について

- ・先着順で受け付けます。お申込みいただいた場合でも、すでに定員満了となっており、お断りする場合があります。なお、定員に満たない講座は開講しない場合もあります。
- ・受講料のお支払いについては、各講座の申込締切日以降にメールでご案内いたします。
- ・講座の内容、開催日時等は都合により変更となる場合があります。
- ・受講料お振込後、または講座途中のキャンセル、返金は致しかねます。
- ・お申込み後に受講受付連絡をメール配信します。お申込み内容をご確認ください。
- ・すべての講座は日本語で行います。
- ・機材を使用する講座は、使用料が含まれております。

講座開催場所

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス
〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

ACCESS



JR 「恵比寿駅」より徒歩 14 分
私鉄 東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩 5 分
地下鉄 日比谷線「中目黒駅」より徒歩約 5 分



TCM

2026 年度 東京音楽大学
春学期 社会人向け 公開講座

社会人の 学びの場

東京音楽大学

音楽大学でより本格的に“学びたい・学び直したい”
社会人の方々を対象に、中目黒・代官山キャンパスにて
「社会人の学びの場」を開講しています。

開講講座

- 01 即興的ピアノ演奏のススメ
～和音から発想する即興演奏の実践～
- 02 分析によって得られる解釈からより深い表現へ！
～平均律クラヴィア曲集 第2巻で学ぶバッハのフーガ～
- 03 オリジナル管楽器から学ぶ、ヨーロッパ・バロック音楽の魅力
- 04 創作への誘い
～自分のピアノ曲を作ってみませんか？ 初めて曲を作る方の為の～
- 05 シャベリ言葉からリズムを手に入れよう
- 06 中国伝統音楽における加花変奏技術について

シリーズⅦ

講座番号 01 即興的ピアノ演奏のススメ
～和音から発想する即興演奏の実践～

5月 9日・5月 23日・6月 6日
土曜 16:00-17:30

全3回 19,800円 (税込) 定員 20名 最低開講人員7名 申込締切 4月18日

鍵盤での即興演奏の秘訣は「和音を操ること」。本講座では、クラシック音楽における即興の歴史にも触れながら、和音進行の考え方を軸として基礎的な即興の実践を行います。偉大な作曲家たちも実は即興の名手でした。即興を体験することは、作品の理解にも直結します。

アルペジオとスケールだけを弾いて立派な曲になる？！簡単な和音進行をマスターしてオリジナルのメロディーを乗せてみる！など、指先から自分だけの音楽を自在に紡ぎ出す楽しさを味わってみませんか？



渚 智佳 先生

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、東京藝術大学大学院修了。全日本学生音楽コンクール全国大会高校の部、園田高弘賞ピアノコンクール等にて優勝。東京都交響楽団、チェコ・フィル八重奏団等と共演。全音ピアノ教則本CDでは「ソナタ・アルバム」「ツェルニー50番」始め20タイトルを超える録音を行なう。ヤマハ音楽振興会にてピアノ指導法講座や教材編集・録音に携わる。演奏活動の傍ら作編曲も手掛け、R. シュトラウス「英雄の生涯」吹奏楽編曲版を出版。現在、東京音楽大学准教授、ヤマハ音楽研究所研究員。

講座番号 02 分析によって得られる解釈からより深い表現へ！（シリーズⅦ）
～平均律クラヴィア曲集 第2巻で学ぶバッハのフーガ～

5月 11日・5月 18日・5月 25日
月曜 18:30-20:00

全3回 13,200円 (税込) 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 4月20日

この講座では昨年の春学期に平均律クラヴィア曲集1巻のフーガを取り上げました。今回は2巻のフーガを分析してみましょう。1巻にはなかった2重フーガ、3重フーガ、ストレッタから始まるフーガなどがあります。1巻の22年後（1744年）に完成した2巻の磨き上げられた書式とそれがもたらす音楽の自由さ、熟成した音楽を味わいましょう。

受講者は各自、楽譜を用意して下さい。



照屋 正樹 先生

東京藝術大学音楽学部作曲科及び同大学院音楽研究科作曲専攻卒業
現在、東京藝術大学名誉教授、東京音楽大学非常勤講師
主要著書：「楽典～音楽の基礎から和声へ」（アルテスパブリッシング刊、共著）
「フォルマシオン・ミュージカル教育法によるティーチングプラン」（東京藝術大学出版会刊）

講座番号 03 オリジナル管楽器から学ぶ、ヨーロッパ・バロック音楽の魅力

5月 15日・5月 22日・5月 29日
金曜 18:30-20:00

全3回 13,200円 (税込) 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 4月24日

在学中よりピリオド楽器の演奏を続ける中、幸い入手したオリジナルリコーダー<Bressan>の凄さ、素晴らしさに衝撃を受けました。以来楽器への様々なアプローチを通じて、18世紀ヨーロッパ音楽の感性や当時の器楽の考え方を研究し、その後フラウト・トラヴェルソ、ヒストリカル・ファゴットをも入手して、縦横斜めの管楽器より「教えを乞いて」演奏を続けています。本講座ではこれら楽器の紹介はもとより、当時の楽器の持つ役割がどのようなものであったのか、実際の音色などを通じて知っていただきたいと思っております。



吉澤 徹 先生

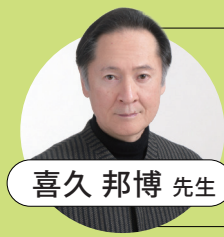
東京音楽大学声楽科卒業。声楽を竹村靖子、故鈴木寛一、リコーダーを大竹尚之、W.v.ハウヴェ、フラウト・トラヴェルソを故中村忠氏に師事する。在学中第5・6回全日本リコーダーコンクールにおいて優秀賞、'88 CBS SONYニューアーティストオーディションにおいてFM東京賞を受賞。その後、90年代半ばに相前後して縦・横のオリジナル楽器を入手して以後、楽器と対峙・研究し、製作にも関わる等独自の研鑽を積み、公演、録音等の他、指揮者、指導者として活動している。後年ヒストリカル・ファゴットも手掛け、鈴木禎氏に師事する等、積極的に研鑽・活動の幅を広げている。2016年より始めた第5日曜日室内楽ライブ「Bonus Track」は既に25回を重ね、好評を博している。現在、東京音楽大学・大学院非常勤講師。

講座番号 04 創作への誘い
～自分のピアノ曲を作ってみませんか？初めて曲を作る方の為の～

6月 2日・6月 9日・6月 16日
火曜 18:30-20:00

全3回 19,800円 (税込) 定員 20名 最低開講人員7名 申込締切 5月12日

近年大人になってからピアノを始める方や、子供の頃に習っていて、また再開される方が増えてきました。過去の名曲を演奏することも大きな楽しみです。そこにもし自分のオリジナル曲を加えることが出来れば、今までとは違った音楽世界が開かれるのではないのでしょうか。ベートーヴェン、ショパン、リストなど偉大な作曲家達も演奏することから始め、ピアノ作品を作り、そこから様々な作品へと幅を広げて行きました。難しい曲でなくても自分の曲を作り演奏する事によって、作品に対する見方にも変化をもたらすと思います。実習をしながら作曲の基礎を体験する講座ですので、初歩的な楽曲の演奏経験がある方を対象とします。



喜久 邦博 先生

ピアノ曲及び吹奏楽曲の作編曲を多く手掛け今日に至る。
ビティナ・ピアノコンペティション、カワイこどもピアノコンクールの課題曲として多くの作品が選定され、たくさんの子供達に演奏されている。またヤマハ音楽振興会指導スタッフとして、講師の育成研修業務、グレード関連講座及び試験官、優秀生徒の発掘育成、JOC（ジュニアオリジナルコンサート）の制作ディレクションなど、多岐にわたる業務に携わり現在に至っている。
東京音楽大学、大阪芸術大学、ヤマハ音楽院各講師。日本作曲家協議会会員。

講座番号 05 シャベリ言葉からリズムを手に入れよう

6月 5日・6月 12日・6月 19日
金曜 18:30-20:00

全3回 13,200円 (税込) 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 5月15日

昨年も開講しましたが、ご好評により、今年も。
リズムを読む事が苦手な方、あるいは初心者の方々のために「しゃべって歌って味わって覚える リズム基礎講座」（音楽之友社）を書きました。今回もこの本に添ってリズムを楽しみたいと思います。

「こまった」「しまった」をリズムではどう書くのか？は、童謡「犬のおまわりさん」が教えてくれます。

「愛サンサン」「しくらめんのかほり」「卒業写真」「ライラック」「レモン」・・・はどんなリズム譜なのでしょう？皆さんで歌って、ひも解いていきます。お楽しみに。

※ 受講者は各自、「しゃべって歌って味わって覚える リズム基礎講座」（音楽之友社、税込 1,760 円）を用意してください。



高橋 千佳子 先生

東京藝術大学作曲科卒業。同大学院ソルフェージュ科修了。作曲を池内友次郎、矢代秋雄、永冨正之、間宮芳生、松村禎三の諸氏に、ピアノを谷康子女史に、また伴奏法をアンリエット・ビュイグ＝ロジェ女史に師事。国立音楽大学、東京藝術大学及び同附属高校、日本大学芸術学部、東京音楽大学の講師を経て、現在、東京音楽大学附属高校講師。成城ソルフェージュ研究会代表、日本ソルフェージュ研究協議会理事。また、1977 年より CM 作曲に携わり、ヒット作は明石家さんまのキックョーマン・ぼん酢しょうゆ「しあわせって何だっけ？」。著書に『ドレミでみつける名曲のヒミツ』『しゃべって歌って味わって覚える 基礎講座』（音楽之友社）、『たのしいリズムパーティー 1、2 巻』『ぶっぶるのリズムカード』『いちばんやさしい 3 歳からのソルフェージュ、5 歳からのソルフェージュ』（ヤマハ M.E.H.）など。

講座番号 06 中国伝統音楽における加花変奏技術について

6月 6日・6月 20日
土曜 14:00-15:30

全2回 8,800円 (税込) 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 5月16日

1980年代から中国は日本を含める西側諸国との文化交流が許されるようになり、これまで禁止されていた海外の映画や小説、更には絵画、音楽などが徐々に紹介されるようになりました。一方、中国の文化も海を超えて数多く外国へ流れて行き、大きな話題となったものもあります。特に日本においては約20～30年程前、中国楽器による民族的な音楽が非常に注目されると同時に中国楽器を習う人が急激に増え、一大ブームとなった時期がありました。しかし、中国楽器を習っている皆様がよく悩まれている「演奏のニュアンス」について、最も重要なポイントは楽譜には記述されておりません。これはいわゆる「加化変奏」という即興演奏法であります。本講座ではこの演奏法について、様々な技術を紹介して参りたいと考えております。



王明君 先生

上海出身。北京中央音楽学院を経て中国音楽学院を卒業。卒業と同時に国家最年少記録で専任講師に任命される。85年来日し、東京藝術大学大学院修士課程(音楽学)修了。これまで、東京交響楽団、広島交響楽団、旧新星日本交響楽団、北京中央楽団、上海交響楽団など多くのオーケストラと共演。99年、文化庁主催のコンサートでは天皇、皇后両陛下の御前で演奏を行う。03年には自作王明君 先生 曲「星光」で民音芸術大賞を受賞。日本ではこれまで7枚のCDを発表。現在、昭和音楽大学客員教授、東京音楽大学非常勤講師。